



沼高トピックス

体育コース ～ 愛される[応援される]体育コース ～

第5号 2021年5月24日(月)

— 仲間と共に、県総体へ —

○柔道部 第43回全国高等学校柔道選手権大会

3月19日(金)に第43回全国高等学校柔道選手権大会が東京日本武道館で開催されました。本校からは2名の生徒が出場しました。-63kg級では2年9組岡部 瑞生さんが出場しました。1回戦では4分間では決着がつかず延長戦へ突入しましたが、惜しくも1回戦敗退となりました。

-52kg級では2年9組落合 倅さんが出場しました。1回戦から果敢に攻め次々と勝ち、準決勝へと駒を進めます。準決勝で惜しくも敗退となりましたが「全国第3位」という結果を残しました。ここ最近社会情勢を揺るがす新型コロナウイルス感染症の拡大という暗いニュースが多い中、沼田高校に明るい希望をもたらしてくれた柔道部2人に感謝したいです。

本校体育コース生は、パブリックビューイングを行い、柔道部の2名の生徒を応援しました。「教職員・生徒が一つになって応援する」という素晴らしい日となりました。

○体育コース集会

4月13日(火)に体育コース集会を行いました。新1年生を迎えて初めてのコース集会でした。校長先生の挨拶、体育教職員の紹介、新1年生による決意表明等が行われました。各クラブすでに総体予選が始まっています。3年生で迎える最初で最後の総体。人生に1度しかチャレンジできない大会で、体育コース生全員が力を合わせて大会に臨んでもらいたいです。



第1体育館でLive配信を視聴



女子バレーボール部



男子サッカー部



剣道部



陸上競技部



柔道部



水泳部

○各クラブ主将より ※主将は全員3年9組

○陸上競技部

主将 中村 ひなた

①短距離と長距離の多くの生徒が目標に向かって一生懸命取り組んでいます。昨年度の秋には長距離部は駅伝に出場し県で4位、今年度の短距離男子は地区総体で4×100mRと4×400mRで5位に入賞しました。

②新型コロナウイルスにより、出場できる大会が限られている中で、「感謝」の気持ちを忘れずに「市立沼田」として、個々の目標を達成できるように一丸となって出場します。

○柔道部

主将 高田 さくら

①部員一人ひとりが目標を持って日々練習しています。ONとOFFの切替ができていて、全員で切磋琢磨しながら頑張っています。

②練習できることや試合が開催されることに「感謝」し、個人戦では今までの試合の中での自分の改善点を見直し、本番では誰が相手でも最初から120%の力を出したいです。団体戦ではチーム全員で団結し、最後まで諦めず、相手にぶつかりたいです。全員が全国大会出場を目指します。

○男子サッカー部

主将 上本 雄大

①「返事・挨拶・復唱・お礼・お願い」を徹底し、応援されるチーム作りをしています。また、「勝利」にこだわることを常に意識し、練習や紅白戦は互いに高め合うことのできるチームです。

②目標は、最低ベスト4以上、インターハイ出場です。そのために、日々の練習で自分たちの「自信」につながる練習にしていける。県総体で「大波乱」を起こします。

①クラブの特徴

②県総体に向けて

○女子バレーボール部

主将 土井 望早希

①「球道即人生」を掲げ、全てを勝ちに繋げるために、「当たり前」の事を当たり前にする。「気付き考え行動する」「目配り・気配り・心配り」を日常生活から全員で取り組んでいます。

②試合を通して、自分たちに足りなかったことや出来ていなかったことを3年生中心に全員で話し合い、「勝つ為に」を第一に考えて、全国で戦えるバレーを完成させる。

○水泳部

主将 男子：三好 達也 女子：横田 菜々

①「水泳は人間形成の道なり」をモットーに日々生活から挨拶を大切に、取り組んでいます。

②新型コロナウイルスの影響で地区大会が中止となり、新チームとして最初の大会です。この状況の中で開催できることに感謝し、男女アベック優勝を目標にチーム一丸となって頑張ります。

○剣道部

主将 男子：二宮 崇斗 女子：西野 花

①「日本一」という目標に向かって全員が頑張っています。また、普段から競技に繋がる生活を意識しています。

②チーム全体で試合への覚悟を持ち、一人ひとりが短期間の中で成長するために今できることを見つけ、その課題をクリアする。



3年9組集合写真(撮影時のみマスクを外しています)